前 進

江東区立第二大島中学校　第１学年（令和元年度学年通信）

令和元年　６月　７日発行　　第１６号

大成功の運動会を振り返り、「運動会を終えて」の題で書いた作文を紹介いたします。

運動会を終えて

Ａ組

中学校生活、初めての運動会をとても緊張しました。

二大中でやる最初で最後の運動会。最後まであきらめず走ることが出来ました。まだ、出会って２ヶ月の僕達でも、共に協力できることを学びました。組み体操では、一人一人が協力しながらバランスを取りました。みんなの個性が存分に発揮されました。いつもとは違う真剣な姿に感動しました。練習中もみんな真面目に行っていました。

そんな中、ふと顔を上げると、３年生の白熱したリレーが見えました。最前列だったので、走った後の砂煙がすごかったです。僕とは比べものにならないくらいのスピード。そして、真剣な顔に圧倒されました。まるで一つの映画を見ているようでした。

何よりうれしかったのは、徒競走で一位になれたことです。対抗リレーでは、惜しくも負けてしまいましたが、良かったです。次に行く中学校でもがんばりたいです。

運動会を終えて

Ｂ組

僕は運動会で、「やってて良かったな。」という仕事があります。それが、「記録係」です。記録係はとても大変な仕事で、徒競走や学年種目などで、何点か多かったり少なかったりすると、クラスの勝敗につながってしまうからです。でも。そんな「記録係」でよかったなと思う理由は２つあります。

１つ目は、他学年と連携をとれたということです。普段、他学年と連携をとるということは、委員会や部活動ぐらいしかないと思います。ですが、今回は、「記録係」として、他学年と協力することが出来ました。

２つ目は、合計発表の時です。僕はその時、とても緊張しました。それは、予行練習の時、合計発表をしていなかったからです。本番の発表の時、「一桁目をお願いします。」とアナウンスが流れたとき、僕は、３－Ｃを担当しました。そして、勇気を絞って、「せーの」の合図と同時に１桁目を貼りました。外は、「わあ。」という歓声が上がり、僕はとてもうれしかったです。

そう、今思うと、本当に記録係をやっていてよかったと思います。来年度の運動会でも、下級生が入ってくるので、先輩らしい行動をし、そして、役立てるような仕事がしたいです。

運動会を終えて

Ａ組

私は運動会でうれしかったことは、波乗りジョニーと学級対抗リレーです。

波乗りジョニーの練習を始めた頃は、まだ最後までいけなくて土台が動いてしまったりしていたり、まだスピードが遅かったりしました。それは、土台と土台の間を広く開けることでした。やってみるとスピードが速くなることが出来ました。そして、運動会でもＢ組に勝つことが出来たので、とてもうれしかったです。

そして、リレーでは、バトンがとても重要でした。練習の時バトンを落としてしまったりしてとても難しいと思いました。４人で何回も練習をしてやっと上手く出来るようになれたのです。そして、運動会でＢ組に勝つことが出来たのでとてもうれしいと思いました。

合計点でＢ組に勝つことは出来なかったけど、みんなと力を合わせることができたのでよかったと思います。

運動会を終えて

Ｂ組

私は、運動会を終えて、２つのことを学びました。

一つ目は、挑戦することの大切さです。私は、８００ｍ走の選手になりました。最初は無理だと思っていてやりたくないと思っていました。けれど、挑戦してみようと思いました。当日もまだ不安が残っていたけれど、友達の応援もあり、全力で走りきることが出来ました。このとき、無理と思っていたことでも、挑戦してみなきゃ分からないんだなと思いました。

２つ目は、友達と協力し合うことの大切さです。波乗りジョニーでは、練習で上手くいかずに、本番で勝てるか不安でした。でも、みんなでどうしたら上手くいくか考え、話し合いました。本番は勝てなかったけど、練習より上手くいって良かったです。全員リレーではどこの位置でバトンをもらうか、そしてお互いに協力し合い、応援し合い勝つことが出来ました。そして、優勝もつかむことが出来ました。みんなで協力し合って応援し合って優勝も出来てとても良かったです。

このように、私は運動かを通して、挑戦することと協力し合うことの大切さを学ぶことが出来ました。